



2017 年 3 月 29 日 No.13
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2017 年春闘・月間推進ニュース

浜岡原発再稼働反対!! 福島を忘れない

3.11 静岡でメモリアル day

静岡県は浜岡原発は世界一危険な場所に建てられており、東海大地震には膨大な被害が予想されます。

そのため東京電力・福島第一原発事故が発生した際、菅直人総理(当時)がいち早く浜岡原発の稼働を停止したまま、今日でもいろいろな動きがあっても再稼働を許さない世論がつくられています。

静岡県知事は、浜岡原発の使用済み燃料の処理が明確にならない以上は、再稼働は認めない方針を今日まで堅持しています。しかし、原子力委員会の適合性審査を含め、中部電力は再稼働に向けて、いろいろな世論工作をすすめています。

そこで、こうした動きを世論で止めようと、今までも数回集会を開いていますが、今回は再稼働反対の 100 万人署名と併せ、3 月 11 日に地域集会が開催され、浜岡原発再稼働反対の想いをアピールしました。建交労も県下各地から 50 人近くがこの集会に参加しました。(通信員 松永昌治)



全支部・全職場で アクションを

福岡県本部の春闘のとりくみ

福岡県本部は、今春闘で「職場の団結」と「要求獲得機能」「労働協約の締結」の強化を強めることが重要と、①全職場が春闘要求書を2月16日に提出すること、②建交労知名度アップ宣伝行動を強め組織拡大を推進すること、③3月16日の春闘山場の「全労連春闘 50 万人総行動」で全支部・全職場がアクションを起こし、

各会社に対して職場の団結の力と大幅賃上げ要求の切実さを示すことを県本部執行委員会の決定として提起をしました。

これを受け 16 日の総行動には、職場集会等（8 支部 69 人）、団体交渉（4 職場 23 人）、集会参加（3 支部 6 人）、宣伝行動（3 支部 20 人・1557 枚配布）、署名行動（1 支部 3 人）と、9 支部 121 人・26%の仲間が行動に参加し、地域・職場における春闘のとりくみを広げました。また、春闘交渉単位 19 職場中 13 職場が行動に参加をしました。春闘要求書は 1 職場を残し 18 職場で提出をしています。

職場のたたかいとあわせて、3 支部で建交労知名度アップ宣伝行動にとりくみ、田川支部は「職安」「量販店トライアル」前で春闘チラシを 260 枚配布、大牟田支部では健康相談の案内行動に合わせて 797 枚配布、福岡合同支部ではトラック労働者等に向けた宣伝行動で 500 枚配布しました。

19 日は、博多区中洲キャナルシティ前で、県本部春闘合同宣伝行動にとりくみ、3 支部の仲間 16 人が参加し、1 時間で 1,000 枚のビラ配布と署名 20 筆を集めました。

昼から開催された「安倍政治許すな、県民集会」には合同宣伝行動参加者を含め、建交労から 8 支部 45 人が参加しました。福岡では春闘交渉はこれから本番という状況ですが、この間の行動をバネに、一層の職場の団結を強め、要求獲得や組織拡大に奮闘していきます。



県民集会後、元気にデモ行進へ

3.15-16 国民大行動のとりくみを報告して下さい

全労連・国民春闘共闘が提起した「3.15～16 国民大行動」についてのとりくみ内容の報告は「北海道、茨城、埼玉、東京、神奈川、新潟、愛知、大阪（鉄道）、福岡」の各県から 333 人の集約にとどまっています。（3 月 28 日現在）
どんなに小さなとりくみでも構いません。未報告の組織は大至急、中央本部へお寄せください。

県本部	参加人数	県本部	参加人数	県本部	参加人数	県本部	参加人数
北海道	17	東京	100	滋賀	0	香川	7
青森	0	神奈川	22	京都	0	愛媛	0
岩手	0	山梨		大阪	22	高知	0
宮城	0	新潟	20	兵庫	0	福岡	121
秋田	0	富山	0	奈良	0	佐賀	0
山形		石川	0	和歌山	0	長崎	0
福島	0	福井	0	鳥取	0	熊本	0
茨城	3	長野	0	島根	0	大分	0
栃木	0	岐阜	0	岡山	0	宮崎	0
群馬	0	静岡	0	広島	0	鹿児島	0
埼玉	4	愛知	17	山口	0	沖縄	0
千葉	0	三重	0	徳島	0	小計	128
小計	24	小計	159	小計	22	総計	333